

INTERFACE

仙台市立仙台青陵中等教育学校
第4学年 学年通信
インターフェイス
第32号 令和6年12月13日

「首都圏研修旅行報告④」

(Ⅳ) キャリアアップセミナー (株) emome 森山穂貴 様

東京大学に在籍しながら起業した、現役東大生の森山穂貴様より、「夢なきものに成功なし ～吉田松陰に学ぶ森山穂貴の生き方～」と題しまして講演をしていただきました。これまでの人生を振り返りながらご自身のルーツや夢とは何か、夢を叶えるのに必要なことなど多くのお話しをしていただきました。心に刺さるフレーズも多く、講演後は、夢や目標を持つ、と思った生徒も多かったようで、講演の内容を早速実践しているようです。



講演会の様子

「キャリアアップセミナー」参加生徒からの感想

- お話を聞いて「夢」という存在の重要性を改めて学びました。私自身やりたいことが見つからない、将来はどうなっているんだそうという漠然とした不安を抱えていましたが「夢は小さくなくていい、みんなの中にすでに夢はある」という言葉を聞いて、自分がこれから何を学び、大人になっていきたいかが分かりました。現状維持の毎日ではなく、不安を抱えながらも踏み出していくようにしたいとキャリアアップセミナーを通して強く思いました。
- 私は計画を立てるのが非常に苦手で軽視していましたが、森山さんのお話を聞き、夢を実現するためには計画は必要不可欠なものだと考え直すことができました。今では実際に計画を立ててみて、試行錯誤しながら勉強に臨むことができます。また、「やるべきことがある。だから、やり続けられる」というお言葉が強く印象に残っています。今後とも“D”PDCAサイクルを意識しながら継続したいと思います。
- スケジュール帳を使い、年の目標、月の目標、週の目標を立てることで、毎日やるべきこととその理由が明確になることを知ったため、スケジュール帳で計画を立て、勉強に役立てたいと思った。また、不安なことにもチャレンジすることの大切さを感じ、不安は良い兆候であると聞いて安心した。
- 吉田松陰の「夢なきものに成功なし」という言葉は、今回のセミナーで初めて聞きましたが、森山さんの話もあって本当にその通りだと思いました。PDCAにDをつけて“D”PDCAという言葉はモチベーションも上がるので自分もこれから使っていこうと決めました。フォーサイトというスケジュール帳は研修から帰ってきた後友達と書店に行き探しました。自分の行動をまとめ、やるべきことの最適化・思考の整理を毎日していきたいと思えます。



(V) 卒業生座談会

仙台青陵を卒業し、首都圏の大学に進学した8名の先輩から、青陵在学中の勉強や生活の話や志望校をどのようにして決めたか、大学でどのようなことを学んでいるかなどを座談会形式でお話ししていただきました。一番身近存在で、かつ難関大に進学した先輩なので、多くの生徒が印象に残った、参考になったと振り返っていました。座談会はすべて実行委員が企画運営を行いました。そのお陰でスムーズで、実りの多い座談会になりました。

「卒業生座談会」参加生徒からの感想

- ・実際に青陵生だった人たちに、この研修で一番身近な人たちの話を聞いて、勉強時間や成績帯の指標になって良かった。また、どの卒業生も自己分析がとてもうまいなと感じた。自分の得意・不得意だけでなく集中できる環境や合う教材、できない分野まで模試も活用しながら知るのが大切なのだと分かった。また、当たり前のようにできない、スマホを使わない、毎日勉強する、予定をしっかり立てるというのを当たり前にしていく必要があると痛感した。
- ・先輩方の話を聞いて目標を達成するためには、一つひとつの学習に意味を持たせて取り組むことが大切だと思った。定期テストや模試を受動的に受けるのではなく、学習が身に付いているかの確認に活用していたという経験談は自分の受験の仕方や模試までの過ごし方を見直すきっかけになった。また、大まかな夢を明確な夢にして自分の将来に合った進学先を決めた話は、まだ曖昧な目標しかない私への刺激となった。



参加してくれた卒業生の皆さん（右から）
7期生

關川 紗葵 東京科学大学工学院
竹浦 志帆 早稲田大学文学部文学科
小山 桃子 東京学芸大学教育学部

10期生

石塚 柊悟 東京大学文科一類

9期生

大野真之介 東京科学大学理学院
三井 杏介 一橋大学経済学部
松田 知也 東京大学文科三類
高橋 訓 千葉大学工学部



座談会の様子



座談会終了後に
個別に先輩に話を聞きに行く生徒も多数
でした



※ 第三者への公開・開示や不当な目的での使用、複写及び複製を禁じます。